

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）（H28.3月） 部門別指標一覧

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）の評価結果について【詳細資料】

1) ライフスタイルの見直しと住宅の低炭素化（家庭部門）

目 標 指 標	令和2年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	達成状況	総括等
エコライフDAY及びエコドライブの参加者延べ人数	300,000人	57,000人	120,547人	182,988人	244,090人	0人	×（未達成）	令和2年度は、コロナ禍によりエコライフDAY実行委員会の活動を見合わせたため、参加者数は0人であった。令和元年度までは毎年継続的に実施したことから参加者数を増やし、制度を周知することはできたが、目標達成には至らなかった。
市内太陽光発電設備設置容量 （環境配慮システム等設置費補助による）	3,050kW	2,564kW	2,719kW	2,961kW	3,123kW	3,243kW	（達成）	太陽光発電設備の設置について、継続的に補助事業を実施し、周知啓発を図ったことから、令和2年度目標値を大幅に上回り達成することができた。

2) 工場オフィスの低炭素化（産業・業務部門）

目 標 指 標	令和2年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	達成状況	総括等
地球温暖化対策計画書制度における特定事業者の温室効果ガス削減	排出量を年平均5%削減	17社中12社が基準値から5%削減を達成	18社中12社が基準値から5%削減を達成	19社中13社が基準値から5%削減を達成	17社中12社が基準値から年平均5%削減を達成	14社中9社が基準値から年平均5%削減を達成	×（未達成）	計画達成のための取組を行った企業をホームページにおいて紹介することで事業者のイメージアップに寄与した。しかしながら、最終年度の令和2年度において、目標値を達成したのは全体の64.2%にとどまったことから、目標未達成とした。
環境マネジメントシステムの普及	125事業所	107事業所	113事業所	110事業所	111事業所	113事業所	×（未達成）	市内事業所のISO等認証取得に係る補助金制度は継続的に実施し、目標値の90%の実績を達成したが、目標値には届かなかった。

3) 市内交通の低炭素化（運輸部門）

目 標 指 標	令和2年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	達成状況	総括等
自転車通行空間の整備延長	10,000m	4,700m	5,900m	7,350m	7,350m	10,100m	（達成）	概ね予定どおりに設計、工事を進めることができ、目標を達成することができた。
「toco」バス利用者数	829人/日	991人/日	1,011人/日	1,030人/日	1,022人/日	695人/日	×（未達成）	令和元年度までは、利便性向上に向けた取組により増加傾向だったが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度はバス利用者が減少し、対前年度比で約70%の利用にとどまった。

4) ごみ減量・リサイクルの推進による温室効果ガス削減（廃棄物部門）

5) 二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制対策

目 標 指 標	令和2年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	達成状況	総括等
1人1日当たりごみ排出量	730g/日・人	634g/日・人	598g/日・人	588g/日・人	593g/日・人	615g/日・人	（達成）	家庭ごみの排出総量は、コロナ禍において令和2年度は増加したものの、基本的には横ばいである。人口は増加していることから、1人1日あたりのごみ排出量は減少傾向である。
一般廃棄物のリサイクル率	25%	25%	24%	24%	23%	25%	（達成）	減少傾向であったが、令和2年度は段ボールやペットボトル等の資源の排出量が増加したことから、目標を達成することができた。

6) 部門横断的対策

目 標 指 標	令和2年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	達成状況	総括等
生け垣設置・屋上等緑化奨励補助件数	30件	6件	3件	4件	2件	0件	×（未達成）	合計15件であり目標値を下回った。要件の見直しなど、制度の再検討の必要があると考える。
とだグリーンウェブによる植樹本数	325本	74本	91本	78本	71本	45本	（達成）	合計359本で目標値を上回った。制度PR、広報等に一層努めていく。

7) 地球温暖化への対応策

目 標 指 標	令和2年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	達成状況	総括等
雨水貯留施設等設置費補助延べ利用件数	145件	115件	117件	117件	120件	121件	×（未達成）	達成とはならなかったものの、概ね目標値に近づけることができた。
士のうステーションの設置場所	12か所	12か所	17か所	17か所	17か所	19か所	（達成）	平成28年から7か所増設を行った。
戸田市防災情報メールの登録者	4,700人	3,699人	3,945人	4,298人	4,387人	4,632人	×（未達成）	気象情報や防災情報への登録が増加したが、目標値には至らなかった。
河川の護岸整備	490m	68m	88m	70m	121.6m	177m	（達成）	浸水被害軽減のため、一部区間で鋼矢板による暫定整備も実施した。このことにより、暫定形を含む整備延長が合計で525mとなり、目標を達成することができた。

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(1) ライフスタイルの見直しと、住宅の低炭素化（家庭部門）			
低炭素ライフスタイルの定着（P43）			
エコライフDAYの拡大 (1 エコスタイルプロジェクト)	環境課	A (達成)	計画どおり市民団体であるエコライフDAY実行委員会の活動を支援するとともに、参加者の拡大が促進されるよう、HPにエコライフDAYの取組の周知を継続した。また、ポスター掲示を通じ、エコライフWEEKやMONTHについて呼びかけを継続して行ったことから、目標達成とした。
環境イベントの継続・拡大 (1 エコスタイルプロジェクト)	環境課	A (達成)	計画どおり市民団体であるキャンドルナイトinとだ及びとだ環境フェアの実行委員会を支援し、イベントの継続的な実施につなげた。また、クールシェア事業を継続的に実施し、HPなどによる取組の周知やクールシェアスポットの増加に取り組んだことから、目標達成とした。
地域通貨「戸田オール」の活用によるCO ₂ 削減の取組へのインセンティブ付与	協働推進課	A (達成)	「地域通貨戸田オール運営委員会」において、市内団体・個人等が市民とともに行う社会貢献活動に対して支援するオール基金事業を拡充し、環境分野を含め様々な社会貢献活動に利用しやすいしくみ作りを行った。
家庭におけるエネルギーの「見える化」の推進（P44）			
家庭向け省エネ診断の普及 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	B (一部達成・代替案実施)	計画どおり、HPにて省エネ診断事業の情報提供を行い、省エネ診断の周知を図った。埼玉県版家庭のエコ診断については、以前はチラシを市内小学校に配布し、啓発していたが、県の事業が中止となつて以降、新たな取組を実施していないことから、一部達成とした。
見える化メーターの普及 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	計画どおり、HPにてワットアワーメーターの活用方法を掲載し、情報提供を継続したことから、目標達成とした。
省エネ家電や自然エネルギー利用機器の普及（P44）			
高効率給湯器の導入支援 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	計画どおり、環境配慮型システム等設置費補助制度において、給湯器導入に対する支援を継続した。また周知に当たって、同補助金のチラシの町会回覧やHP、広報、SNSと様々な方法で普及啓発を行ったことから、目標達成とした。
太陽光・熱システムの導入支援 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	計画どおり、環境配慮型システム等設置費補助制度において、太陽光発電システム等の導入に対する支援を継続した。また周知に当たって、同補助金のチラシの町会回覧やHP、広報、SNSと様々な方法で普及啓発を行ったことから、目標達成とした。
省エネ家電・LED照明の情報提供・買い替え促進 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	省エネに係る情報をHPで公表するだけでなく、地球温暖化防止パンフレットのイベント等での配布や環境月間展示での掲示を通じ、市民への周知を図った。また、公共施設や街路灯へLED照明の導入を含めた省エネの取組の推進を働きかけたことから、目標達成とした。
省エネ住宅の普及（P44）			
エコリフォームの普及 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	リフォームにおいても活用することができる環境配慮型システム等設置費補助金の周知を行い、住宅の省エネ化の推進を図ったことから、目標達成とした。
	経済政策課	A (達成)	ホームページ等でスマートハウスを周知することができた。
省エネ住宅の新築や改修への支援 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	需要等を踏まえて環境配慮型システム等設置費補助制度の内容の拡充や見直しを図り、省エネ住宅の新築や改築の促進を行ったことから、目標達成とした。
	まちづくり推進課	A (達成)	毎年、パンフレットやポスターの窓口配布・掲示による周知を行うことができたため、省エネ住宅の普及・啓発が図られた。
建築物環境配慮制度の運用 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	HP等にて制度の周知を図るとともに、戸田市宅地開発事業等指導条例に基づく各課協議の際に特定建築物環境配慮計画書の作成を指導し、制度を運用したことから、目標達成とした。
フードマイレージの活用（P45）			
埼玉県産の農産物の購入促進	経済政策課	A (達成)	新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は戸田収穫祭を開催することが出来なかったが、他の年は姉妹都市や地元農家の野菜を販売し、県内農産物のPRを行うことが出来た。また、学校給食については、毎年市内農家の野菜を提供しており、県内産の食材の使用を推進することが出来た。
	保育幼稚園室	A (達成)	米をはじめとする日常的に使用する食材において、県内産の使用を推進した。
	市民医療センター (介護老人保健施設)	A (達成)	埼玉県産の米や野菜を使用した食事を提供し、地産地消に取り組んだ。献立表には、埼玉県産等と表記をし、PRを行った。
	学校給食課	A (達成)	「彩の国ふるさと学校給食月間」に合わせて地産地消への取組を積極的に進め、県内産農産物のPRを図ることができた。
フードマイレージ表示の推進	環境課	B (一部達成・代替案実施)	フードマイレージや食料の地産地消についての普及啓発を図ったものの、環境家計簿普及の実施には至らなかったことから、一部達成とした。

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(2) 工場・オフィスの低炭素化（産業・業務部門）			
大規模事業者向けの対策（P46）			
地球温暖化対策計画書制度の運用	環境課	A (達成)	戸田市地球温暖化対策条例に基づき、制度を継続的に実施した。省エネにかかわる補助制度の周知についても併せて行った。また、計画値達成のための取組を行った企業をホームページにおいて紹介し、事業者のイメージアップに寄与したことから、目標達成とした。
中小事業者向けの対策（P46）			
中小事業者向けの省エネ診断 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	経済政策課	A (達成)	メールマガジンやホームページ等で省エネ対策セミナー等を周知することができた。
	環境課	B (一部達成・代替案実施)	省エネ診断について、HPやチラシの配架等により周知を図った。商工会等との連携については一部実施できなかったことから、一部達成とした。
環境マネジメントシステムの普及 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	経済政策課	A (達成)	商工業支援事業補助金において、メニューとして、ISO認証取得支援事業があり、補助実績もあった。
	環境課	A (達成)	戸田市ISO認証取得支援補助制度等の運用により、中小事業者におけるISO14001やエコアクション21の導入を促進したことから、目標達成とした。
業務ビルの省エネ化（P47）			
省エネ設備・機器導入支援 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	環境課	A (達成)	事業者に対し、省エネ機器の導入を促進するため、環境配慮型システム等設置費補助金制度を継続的に実施したため、目標達成とした。
公共施設への省エネ・再生可能エネルギー機器等の率先導入 (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	各公共施設管理課 (資産経営室)	A (達成)	庁舎の照明のLED化を進め、エネルギー使用量の低減化が図られた。
	各公共施設管理課 (協働推進課)	A (達成)	修繕・交換の必要が生じた際に、省エネ・再生可能エネルギー機器等の導入に配慮した。
	各公共施設管理課 (文化スポーツ課)	A (達成)	戸田市文化会館及び戸田市スポーツセンター屋内プールにおいて、改修及び新築の際に省エネ設備の導入を行い、省エネ設備を導入した施設として完成に至った。 令和2年度は、戸田市スポーツセンター改修工事の設計業務において、省エネ設備の導入について検討を行った。
	各公共施設管理課 (経済政策課)	Z (評価外)	該当施設については、商工会館内へ移設した。よって、導入について検討は行わなかった。
	各公共施設管理課 (環境課)	A (達成)	機器の入れ替えの機会は多くなかったが、入れ替えの際には省エネ機器の導入を促進したため、目標達成とした。
	各公共施設管理課 (みどり公園課)	A (達成)	公園へソーラー時計を設置することにより、再生可能エネルギーの活用を図ることができた。
	各公共施設管理課 (東部福祉センター)	A (達成)	H30までは緑のカーテンを実施し、R1からは内容を変更し、LED化を実施することにより、施策を推進した。屋内照明を一部LED照明に切り替えることで、電力消費量を抑制し、熱量の発生を低減することで、室内温度上昇を軽減できた。
	各公共施設管理課 (西部福祉センター)	A (達成)	H30までは緑のカーテンを実施し、R1からは内容を変更し、LED化を実施することにより、施策を推進した。屋内照明を一部LED照明に切り替えることで、電力消費量を抑制し、熱量の発生を低減することで、室内温度上昇を軽減できた。
	各公共施設管理課 (新曽福祉センター)	A (達成)	R1までは緑のカーテンを実施し、R2からは内容を変更し、LED化を実施することにより、施策を推進した。敷地内緑地の適切な管理と、エネルギー消費量の抑制(エネルギー効率の良い機器への一部切り替え)を順次実施している。また、LED照明使用により環境負荷軽減を実践していることを掲示し、啓発に努めている。
	各公共施設管理課 (障害福祉課)	B (一部達成・代替案実施)	複数の指定管理施設において、設備・機器の入替え時に省エネ効果の高いLED照明を導入することが出来た。
	各公共施設管理課 (長寿介護課)	B (一部達成・代替案実施)	省エネ機器の導入や、資源の再生利用を実施する等、低炭素化につとめた。
各公共施設管理課 (福祉保健センター)	A (達成)	毎月自家用電気工作物の点検の際に点検を実施し、維持管理を行っている。	
各公共施設管理課 (保育幼稚園室)	A (達成)	公立保育園7園の設備及び備品について、段階的に省エネ機器の導入を行った。	

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(2) 工場・オフィスの低炭素化（産業・業務部門）＜前ページの続き＞			
公共施設への省エネ・再生可能エネルギー機器等の率先導入＜前ページの続き＞ (2 家庭や事業所の低炭素化プロジェクト)	各公共施設管理課 (児童青少年課)	A (達成)	交換時期や対応可能な機器の省エネタイプへの変更のほか、冷暖房や照明のこまめなON・OFFなど職員の意識付けを徹底するなど、ハード面及びソフト面ともに実施することができた。今後も、交換時期に合わせ順次省エネ・再生可能エネルギー機器等へ移行していく。
	各公共施設管理課 (防犯くらし交通課)	A (達成)	平成28年度～平成30年度において、省エネ効率の高い機器を率先して導入し、低炭素化を実現させることが出来た。
	各公共施設管理課 (教育総務課)	A (達成)	各年度の公共工事において、計画通りLED照明を導入することによって省エネ化が推進できた。
	各公共施設管理課 (教育政策室)	B (一部達成・代替案実施)	夏期エアコン使用時期においては、館内の適切な温度設定を守ったり、不要な場合は消したりしていた。引き続き、冬期においても、同様に守っていく。
	各公共施設管理課 (学校給食課)	A (達成)	太陽光発電システム、LED照明を継続して使用することにより、省エネ・再生可能エネルギーの活用及び普及啓発をすることができた。
	各公共施設管理課 (生涯学習課(図書館・郷土博物館))	B (一部達成・代替案実施)	照明器具のLEDへの切り替えなど、省エネ設備導入については引き続き検討していく。
	各公共施設管理課 (生涯学習課(彩湖自然学習センター))	B (一部達成・代替案実施)	展示照明の一部をLED化した。展示リニューアル時の省エネ設備導入については引き続き検討していく。
	各公共施設管理課 (上下水道経営課)	B (一部達成・代替案実施)	主となる上下水道部の執務室照明については、LEDへの交換が完了したが、新首南庁舎としてはすべて完了していないため、今後についても予算調整の上、LEDへの交換を推進していく。
	各公共施設管理課 (水道施設課)	A (達成)	施設の整備にあたっては、太陽光発電設備をはじめとした省エネ・再生可能エネルギーの機器の導入を行った。
各公共施設管理課 (下水道施設課)	C (未実施)	大規模な施設の建設、改修がなかったため、再生可能エネルギー設備の導入は実施しなかった。	
環境関連ビジネスの振興（P47）			
環境関連ビジネスの振興	経済政策課	A (達成)	商工業支援事業補助金において、メニューとして、新技術研究開発支援事業があり、補助実績もあった。
	環境課	A (達成)	環境配慮型システム等設置補助制度において、市内事業者が施工する場合に通常よりも優遇する制度を継続的に実施したことから、目標達成とした。
エコ事業者の認定・表彰制度	経済政策課	B (一部達成・代替案実施)	平成28年度に、エコアクション21認証取得に係る補助金の設計を実施し、補助金としてメニュー化した。また、企業の認定等については、CSR認定制度等も含めて検討を実施している。
	環境課	B (一部達成・代替案実施)	地球温暖化対策計画書を提出いただいた事業者の、計画値達成のために行った取組をホームページで紹介した。エコ事業者の認定や表彰制度等の創設までは至らなかったことから、一部達成とした。
埼玉県の目標設定型排出量取引制度の普及（P47）			
埼玉県の目標設定型排出量取引制度の普及	経済政策課	A (達成)	メールマガジンやホームページ等で地球温暖化対策計画制度及び目標設定型排出量取引制度を周知することができた。
	環境課	A (達成)	HPやメールマガジンを活用し、目標設定型排出量取引制度の情報提供を継続的に実施したため、目標達成とした。

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(3) 市内交通の低炭素化（運輸部門）			
エコドライブの普及（P48）			
エコドライブの普及	防犯くらし交通課	A (達成)	出前講座等を通して、特に交通事故発生が多い高齢者に対し、交通事故への危険性について注意喚起を図った。
	環境課	A (達成)	エコライフDAY実行委員会や戸田市地球温暖化対策地域協議会との連携により、継続的にエコドライブに関する普及啓発を行ったため、目標達成とした。
	資産経営室	A (達成)	自転車利用について継続的に周知を実施するとともに、新たに電動自転車を購入したことで、自転車利用の促進が図られた。
次世代自動車の普及（P48）			
燃料電池自動車・電気自動車等の普及・買い替え促進	環境課	A (達成)	電気自動車等導入費補助制度を継続し、次世代自動車の普及を促進したことから、目標達成とした。
充電設備設置に関する支援	環境課	A (達成)	充電設備等に関する支援を充実させ、市内交通の低炭素化に向けた環境整備を促進したことから、目標達成とした。
庁用車への次世代自動車および充電設備の有効活用	資産経営室	A (達成)	費用対効果も踏まえ、可能な限りリース更新時に次世代自動車への切替えを行うとともに、車両台数及び車種の見直し、電動自転車の導入も併せて行い、全体的なエネルギー使用量の低減化を図った。
自家用車から公共交通や自転車への利用転換の促進（P48）			
コミュニティバス「toco」の利用促進 (3 自動車に依存しないまちづくりプロジェクト)	防犯くらし交通課	A (達成)	路線の見直しについては、アンケート調査や利用者、地域等からの要望により、ニーズの把握及び検討を行っており、可能な範囲で効率的なルート変更及び増便を実施することができた
自転車利用の普及促進 (3 自動車に依存しないまちづくりプロジェクト)	道路河川課	A (達成)	戸田市歩行者自転車道路網整備計画に基づき、自転車通行空間約6,230mの整備を行い、自転車ネットワーク形成を図った。また、より一層の自転車通行環境の向上をさせるため、戸田市歩行者自転車道路網整備計画の改定を行った。
	防犯くらし交通課	A (達成)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、規模の縮小や中止となるものもあったが、小学4年生を対象とした自転車運転免許教室や交通安全教室等により、安全利用の一層の普及啓発に努めた。
エコ通勤の普及（P49）			
事業者に対する自主的取組の働きかけ (3 自動車に依存しないまちづくりプロジェクト)	経済政策課	A (達成)	メールマガジンやホームページ等でエコ通勤を周知することができた。
ノーカーデーの実施 (3 自動車に依存しないまちづくりプロジェクト)	人事課	A (達成)	市の率先行動として、毎年度ノーカーデーの実施を推進し、温暖化抑制に向けた取り組みを実施することができた。
	環境課	A (達成)	毎年度、他部署と調整し、連名により庁内へノーカーデーの実施を呼びかけたことから、目標達成とした。
運輸・物流の低炭素化に向けたしくみづくり（P49）			
共同配送のしくみづくり	経済政策課	C (未実施)	共同配送は、既にグループ企業同士等で個々に導入が浸透しているようであるが、補足は難しいところである。ただし、市内には運送業・卸売業が多いことから、引き続き、検討していきたい。
	環境課	B (一部達成・代替案実施)	共同配送のしくみについて検討は行ったものの、実現に向けて具体的に取組を進めるところには至らなかったことから、一部達成とした。
カーシェアリングのしくみづくり	環境課	A (達成)	HP等にて継続的にカーシェアリングに関する啓発を行ったため、目標達成とした。
(4) ごみ減量・リサイクルの推進による温室効果ガス削減（廃棄物部門）			
ごみ減量・リサイクルの推進（P50）			
ごみ減量や資源回収の推進	環境課	A (達成)	「ごみの正しい分け方、出し方」のパンフレットや冊子の日本語版と外国語版の作成や、ホームページ等による周知等、ごみの減量化・資源化の徹底を図ることができたため、達成とした。
生ごみ堆肥化	環境課	A (達成)	市民が生ごみバケツを利用することにより、生ごみの水分を減らし、ごみの減量に寄与していることから、達成とした。
	教育総務課	A (達成)	各年度、生ゴミ処理機を維持管理し、積極的に活用できた。生ゴミ処理機の維持管理・更新に係る費用対効果等を考慮し、令和2年度末で生ゴミ処理機の使用を廃止した。

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(5) 二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制対策			
メタン及び一酸化二窒素の削減	環境課	A (達成)	「ごみの正しい分け方、出し方」及びホームページ等により、分別方法について市民に周知することにより、廃棄物の発生を抑制し、メタン及び一酸化二窒素の削減を図ったことから、達成とした。
代替フロン類の削減	環境課	A (達成)	「ごみの正しい分け方、出し方」及びホームページ等により、処分方法について周知し、適切に処理が行われるよう情報提供を行ったことから、達成とした。
(6) 部門横断的対策			
<CO₂吸収源対策>			
身近なみどりの保全・創出 (P52)			
緑のネットワーク形成 (4 とだの緑化プロジェクト)	みどり公園課	A (達成)	緑のネットワークの形成として外環道沿道での壁面の緑化を実施することができた。行動計画の一環として生き物マップ作りを小学生の協力を得て実施することができた。
	都市計画課	A (達成)	
緑のカーテンの普及 (4 とだの緑化プロジェクト)	環境課	A (達成)	ゴーヤ苗の無料配布を継続的に実施し、グリーンカーテンの普及促進を行うことができた。また、屋上緑化に関し、市役所本庁舎の「フェルトガーデン戸田」の視察を受け入れ、屋上緑化施設の適正管理と環境学習の推進を図ったことから、目標達成とした。
既存の緑化補助金制度の充実 (4 とだの緑化プロジェクト)	みどり公園課	A (達成)	屋上緑化、生け垣設置等の補助金を交付し、これらの整備を助長した。また保存樹木に補助金を交付し、保全の一助とすることができた。
	都市計画課	A (達成)	
<戸田産エネルギーの活用>			
太陽エネルギー利用の促進 (P52)			
太陽エネルギー利用の促進	環境課	A (達成)	市民及び事業者に対する補助制度等を継続的に実施し、太陽エネルギーの導入を促進した。また、新設及び改修する公共施設に対し太陽光発電設備の導入を呼びかけるとともに、市民共同発電について情報提供を行ったことから、目標達成とした。
その他エネルギーの有効利用の検討 (P53)			
その他エネルギーの有効利用	環境課	B (一部達成・代替案実施)	補助金の啓発等により、地中熱等の再生可能エネルギーについても周知に努めたが、申請や設置実績等はなかったことから、一部達成とした。
廃棄物のエネルギー利用	環境課	A (達成)	蕨戸田衛生センター焼却炉における排熱を利用し、施設で使用する電力の大部分をまかない、余剰電力を売却することにより、エネルギーの有効利用を図ることができたため、達成とした。
<人・組織・基盤づくり>			
環境活動団体ネットワークの強化 (P53)			
環境活動団体ネットワークの強化 (5 市民ネットワークプロジェクト)	協働推進課	A (達成)	ボランティア・市民活動支援センターの登録団体交流会を実施し、市民活動団体の活動を支援した。
	環境課	B (一部達成・代替案実施)	
	みどり公園課	A (達成)	
環境学習の推進 (P53)			
環境学習の推進 (5 市民ネットワークプロジェクト)	人事課	A (達成)	職員に対し、適宜環境学習を実施し、環境マネジメントシステム等の推進を図ることができた。
	環境課	A (達成)	
	教育政策室	A (達成)	

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(7) 地球温暖化への適応策			
健康分野（熱中症、感染症、ヒートアイランド等）の対策（P54）			
熱中症対策	福祉保健センター	A (達成)	公共施設や県内企業等の協力の下、情報発信拠点の拡大を図った。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って熱中症の危険性が高まり、熱中症予防への普及啓発が強く求められた。各関係機関との調整を行い、クールオアシスの実施施設では、啓発グッズやリーフレットによって周知啓発を行った。
感染症対策	福祉保健センター	A (達成)	広報・HPで蚊の媒介する感染症について、市民への注意喚起に努めた。
	環境課	A (達成)	ホームページでのデング熱に関する情報提供を行い、予防対策等について周知を図ったことから、目標達成とした。
ヒートアイランド対策	各公共施設管理課 (資産経営室)	A (達成)	今後実施予定の外構工事において、駐車場の舗装方法として路面温度低減効果のある工法を採用し、ヒートアイランド対策を図ることとした。
	各公共施設管理課 (協働推進課)	A (達成)	緑のカーテンやプランターの設置など緑化推進を行った。
	各公共施設管理課 (文化スポーツ課)	A (達成)	戸田市スポーツセンターの屋内プール新築工事において、仕様に埼玉県緑化計画届出制度に基づくよう明記し、工事を実施し、完成に至った。 令和2年度は、戸田市スポーツセンター改修工事の設計業務において、人工排熱の抑制のため、省エネ設備の導入について検討を行った。 戸田市文化会館で、ヒートアイランド対策の一環として夏の期間ドライミストを設置したが、令和2年度は改修工事のためドライミストは行わなかった。
	各公共施設管理課 (みどり公園課)	A (達成)	公園内の樹木の剪定により、樹木の生長を適切な状態に維持することができた。
	各公共施設管理課 (福祉総務課(あいバル))	A (達成)	ヒートアイランドの原因であるコンクリート壁面が蓄える熱を、県産の杉板を外壁に採用することで防止した。また既存樹木を多く残し、路面の照り返し等を防いだ。施設管理及び樹木の管理は指定管理者が行った。平成30年から緑のカーテンによりエレベーター内の温度上昇を抑え、温排熱について来館者に啓発した。
	各公共施設管理課 (東部福祉センター)	A (達成)	ヒートアイランド現象緩和のため、図書館分室前の花壇や玄関前のプランターに花苗を植栽することで、ヒートアイランド対策に貢献した。
	各公共施設管理課 (西部福祉センター)	A (達成)	ヒートアイランド現象緩和のため花苗の植栽や、空調クーリングタワーから排出される水をタンクを駐車場へ打ち水として実施し、ヒートアイランド対策に貢献した。
	各公共施設管理課 (新首福祉センター)	A (達成)	ヒートアイランド現象緩和のため、花苗の植栽や打ち水等を実施し、ヒートアイランド対策に貢献した。
	各公共施設管理課 (障害福祉課)	Z (評価外)	ヒートアイランド対策に係る施設の修繕は、緊急性や予算の都合から実施されなかった。
	各公共施設管理課 (長寿介護課)	B (一部達成・代替案実施)	敷地内の草木の植栽や維持管理を適切に行うことで、地球温暖化への配慮につとめた。
	各公共施設管理課 (福祉保健センター)	A (達成)	屋上緑化の定期的な維持管理により、ヒートアイランド現象緩和に努めた。
	各公共施設管理課 (保育幼稚園室)	A (達成)	園庭等を活用した緑のカーテン等の緑化活動の普及・推進を進めた。
	各公共施設管理課 (児童青少年課)	A (達成)	毎年度、学童保育室、児童センターにおける普及啓発活動を行い、児童センターこどもの国に設置している屋上緑化も継続的に実施できている。 今後は、増加している民間学童保育室においても同様の普及啓発活動を行っていく。
各公共施設管理課 (教育総務課)	A (達成)	「学校施設における冷暖房機使用基準」に基づく、適切な冷暖房使用によって省エネ化を推進できた。	
各公共施設管理課 (教育政策室)	A (達成)	・管内外の植物の設置を行うことで、ヒートアイランド対策に努めることができた。	

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(7) 地球温暖化への適応策<前ページの続き>			
ヒートアイランド対策<前ページの続き>	各公共施設管理課 (学校給食課)	A (達成)	屋上緑化を適切に維持管理したことにより、ヒートアイランド現象の緩和及び普及啓発することができた。
	各公共施設管理課 (生涯学習課(図書館・郷土博物館))	B (一部達成・代替案実施)	灯油を使用するものからガス式のものへ空調機器等の入れ替えを行なった。
	各公共施設管理課 (生涯学習課(彩湖自然学習センター))	B (一部達成・代替案実施)	施設壁面の緑のカーテンは実施している。駐車場塗装改善は継続して国(荒川上流河川事務所)要望していく。
	各公共施設管理課 (水道施設課)	A (達成)	施設管理において、空調の温度管理及び樹木・植栽の管理を適切に行った。
	各公共施設管理課 (下水道施設課)	A (達成)	管理施設において、空調設備の適切な温度管理を行い、植栽等の適切な維持管理を行った。
防災分野(集中豪雨、内水氾濫等)の対策(P55)			
雨水浸透・貯留施設による雨水の流出抑制と雨水利用	道路河川課	A (達成)	戸田市宅地開発事業等指導条例に基づき、事業者と雨水の流出抑制に係る協議を行い、雨水流出抑制施設を設置させた。これにより、道路側溝や水路などへの雨水の急激な流出を防ぐことができ、内水氾濫の軽減に努めることができた。
	まちづくり推進課	A (達成)	「戸田市宅地開発事業等指導条例」に基づく手続きは100%実施できているため、雨水浸透・貯留施設設置に貢献できた。
	土地区画整理事務所	B (一部達成・代替案実施)	L/U側溝の敷設や浸透性舗装の実施により、雨水の流出抑制を行った。未整備の調整池については、今後、施工方法も含めて適切な施工時期を検討していく。
	上下水道経営課	A (達成)	広報やHPで市民への周知を図るとともに、継続的に補助を実施したことで、雨水貯留施設の更なる普及に繋げることができた。
	下水道施設課	A (達成)	雨水浸透柵の設置や透水性舗装の整備、宅地開発指導条例に基づき、雨水貯留、浸透施設の指導を実施し、雨水の急激な流出の抑制を図った。
	各公共施設管理課 (資産経営室)	A (達成)	急激な雨水流出の抑制を図るため、既に庁舎免震層において雨水貯留機能を有していたが、今後実施を予定している工事においても更なる雨水流出抑制等の対策を図ることとした。
	各公共施設管理課 (協働推進課)	B (一部達成・代替案実施)	雨水タンクに貯まった水を、植木や花の水やりなどに利用するなど雨水利用を実施した。 雨水貯留・地下浸透設備の導入が想定される敷地の改修は実施しなかった。
	各公共施設管理課 (みどり公園課)	A (達成)	新規公園の整備にあたり、透水性舗装や貯留層を施工することにより、雨水の流出抑制を図ることができた。
	各公共施設管理課 (福祉総務課(あいバル))	A (達成)	施設中央広場は、雨水の地下浸透が可能な舗装材を採用し、敷地内処理を図った。令和2年度は、ゲリラ豪雨が降ったこともあったが、浸水する状況には至らなかった。施設管理は、指定管理者が行った。
	各公共施設管理課 (障害福祉課)	Z (評価外)	雨水対策に係る施設の修繕は、緊急性や予算の都合から、実施の機会がなかった。
	各公共施設管理課 (長寿介護課)	C (未実施)	予算の都合上実施にいたらなかった。次回計画時も引き続き検討していく必要がある。
	各公共施設管理課 (福祉保健センター)	A (達成)	屋上緑化の散水に雨水を活用した。
	各公共施設管理課 (教育総務課)	A (達成)	各小・中学校にて建て替えや校庭修繕を行う際、雨水対策や貯留施設の設置を行うことができた。
各公共施設管理課 (教育政策室)	C (未実施)	教育センターの雨水利用については、現在検討中である。	

戸田市地球温暖化対策実行計画（改訂版）(H28.3月改訂) 実績一覧

施策及び具体的な取組・事業	所管(担当課) (組織改正前)	達成状況 (H28～R2)	総括等
(7) 地球温暖化への適応策<前ページの続き>			
雨水浸透・貯留施設による雨水の流出抑制と雨水利用 <前ページの続き>	各公共施設管理課 (生涯学習課(図書館・郷土博物館))	C (未実施)	駐車場修繕等の修繕は実施していない。
	各公共施設管理課 (水道施設課)	A (達成)	施設の整備にあたっては、必要に応じ担当課と協議の上、雨水枡を設置し、その後も適切な管理を行った。
浸水被害の防止と流域での対応	危機管理防災課	A (達成)	出前講座や、水害避難訓練を実施し、市民の方々に対し、意識啓発を図った。 広域的な洪水被害を想定した水害避難訓練を実施した。
	道路河川課	A (達成)	浸水被害軽減のため、上戸田川については、新曽第二土地区画整理事業区内の河川整備を116m実施し、さくら川についても護岸改修を293.6m、鋼矢板先行整備を145m実施した。
	下水道施設課	A (達成)	雨水工事や浸水対策工事を実施し、浸水被害の軽減を図った。また、流域自治体実施の災害訓練に参加し、連携を図った。
災害時の避難体制の充実	危機管理防災課	A (達成)	戸田市防災情報メール(いいとだメール)を活用した台風情報等の配信の実施した。 スマートフォン用アプリ「Yahoo!防災速報」を活用した避難情報等の配信をした。
	環境課	A (達成)	町会会館5施設に設置した太陽光発電設備について、適正に発電ができていることを確認し、災害発生時等で避難所として機能する際、エネルギー(電気)を使用できる環境を整えることができたため、目標達成とした。
水利用分野(湧水等)の対策(P55)			
節水対策や水利用の節減対策の推進	環境課	A (達成)	エコライフDAYを継続的实施し、市民や事業者へ節水等を呼びかけたため、目標達成とした。

評価C（未実施）の事業に対する環境基本計画2021での位置付け

施策名	取組・事業名	評価C（未実施）の理由	R3以降	環境基本計画2021での位置付け
業務ビルの省エネ化	公共施設への省エネ・再生可能エネルギー機器等の率先導入	大規模な施設の建設、改修がなかったため、再生可能エネルギー設備の導入は実施しなかった。		【基本施策】 公共施設等のエネルギー対策の推進 【取組】 公共施設への省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入の促進
運輸・物流の低炭素化に向けたしくみづくり	共同配送のしくみづくり	共同配送は、既にグループ企業同士等で個々に導入が浸透しているようであるが、補足は難しい。	-	
防災分野の対策	雨水浸透・貯留施設による雨水の流出抑制と雨水利用	・予算の都合上実施にいたらなかった。次回計画時 も引き続き検討していく必要がある。 ・雨水利用について、現在検討中である。 ・駐車場修繕等の修繕は実施していない。		【基本施策】 気候変動がもたらす気象災害への対応 【取組】 内水氾濫に備えた雨水排水対策の推進

環境基本計画2021において、引続き進捗管理を行う取組は「」、進捗管理を継続しない取組は「」と標記しています。